

2020日本IE協会年次大会

IEが奏でる未来響創

～変化はチャンス、変革を起こして更なる飛躍へ！～

2021年2月9日(火) 9:50～17:05

オンライン
開催

全体会議

開会挨拶・基調講演
特別講演
リフレッシュ講演
(昼休み)
特別講演

事例講演

第1分科会：企業戦略に学ぶ
第2分科会：人財力
第3分科会：シン・現場力
第4分科会：拡がるIE

【配信元】タワーホール船堀（東京都江戸川区）

【全体会議】

開会挨拶
基調講演

9:50～10:10

日本インダストリアル・エンジニアリング協会 会長
(株)東芝 取締役会長

綱川 智



特別講演

10:10～11:00

ユーザーイン経営（仮題）

アイリスオーヤマ(株) 代表取締役会長

大山 健太郎 氏



リフレッシュ講演

11:10～12:00

タニタの働き方革命

(株)タニタ 代表取締役社長

谷田 千里 氏



特別講演

13:00～13:50

大企業の多角化戦略とグループ経営

～多角化戦略、コングロマリット、グループ経営の有効性～
京都大学経営管理大学院、及び大学院経済学研究科 教授

アスリ・チョルパン 氏



■主催：日本インダストリアル・エンジニアリング協会

■協賛：[一部依頼予定]

足利商工会議所／(一社)インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ／(株)日刊工業新聞社／(一財)日本科学技術連盟
(公社)日本技術士会／(公社)日本経営工学会／(公社)日本バリュー・エンジニアリング協会／(公社)日本プラントメンテナンス協会
(公社)日本包装技術協会／(一社)日本旅館協会／(公社)日本ロジスティクスシステム協会／(株)流通研究社
ロボット革命イニシアティブ協議会／(公財)日本生産性本部／埼玉県生産性本部／千葉県生産性本部／神奈川県生産性本部
経営品質協議会／サービス産業生産性協議会

■後援：(公社)経済同友会

【大会組織】

敬称略・会社五十音順（2020年11月10日現在）

大会会長	綱川 智	㈱東芝	取締役 代表執行役社長COO
大会副会長	上條 勉	㈱東芝	執行役常務 生産推進部長
	村田 和彦	日産自動車㈱	常務執行役員 パワートレイン生産技術開発本部 本部長
	清水 茂樹	日本電気㈱	執行役員CSCO
	正井 健太郎	㈱日立製作所	執行役常務
	山崎 憲二	㈱ブリヂストン	常務執行役員
大会委員	望月 俊之	味の素㈱	執行役員 食品事業本部食品生産統括センター長
	北條 良光	アズビル㈱	取締役執行役員常務
	我妻 智	いすゞ自動車㈱	車両生産執行担当 藤沢工場長
	丸亀 秀弥	鹿島建設㈱	専務執行役員 エンジニアリング事業本部長
	森内 孝	鬼怒川ゴム工業㈱	代表取締役社長
	渡邊 龍太	キューピー㈱	執行役員 生産本部 本部長
	藤田 茂樹	芝浦メカトロニクス㈱	代表取締役社長
	吉野 智昭	ジヤトコ㈱	常務執行役員
	秋谷 文男	信越化学工業㈱	代表取締役 副会長
	高田 淳	㈱東芝	生産推進部 生産戦略室 室長附
	山口 直大	東芝テック㈱	取締役 執行役員
	佐藤 広明	東芝ロジスティクス㈱	取締役社長
	山野 泰彦	凸版印刷㈱	取締役常務執行役員 製造技術・研究本部長 兼 品質保証センター長
	早川 敦彦	日産工機㈱	最高経営責任者
	竹原 永郎	日産自動車㈱	生産企画統括本部 アライアンス グローバルダイレクター 兼 APW推進部 部長
	吉村 東彦	日産車体㈱	取締役社長
	藁谷 真司	日通NECロジスティクス㈱	代表取締役執行役員社長
	今井 正	日本製鉄㈱	常務取締役
	斉藤 篤	日本電気㈱	サプライチェーン統括本部長
	田淵 道文	日立建機㈱	執行役専務 開発・生産統括本部 本部長
	大友 仁	日野自動車㈱	古河工場 副工場長
	古川 雅晴	富士ゼロックス㈱	取締役 執行役員 調達本部長 兼 モノ作り本部長
	瀧澤 健	富士通㈱	産業ソリューション事業本部 本部長代理
	根岸 博一	㈱ブリヂストン	Gタイヤ生産支援本部長
	池田 輝久	マレリ㈱	常務執行役員
	三木 康治	三木プーリ㈱	代表取締役社長
	藪 重洋	三菱電機㈱	常務執行役 生産システム本部長
	山本 隆司	UDトラックス㈱	生産部門 VPS バイス プレジデント
	中村 亨	横浜ゴム㈱	取締役執行役員 タイヤ生産本部長 兼 平塚製造所長
	西宮 一雄	㈱リコー	常務執行役員 生産本部長
大会実行委員長	五十嵐 健二	日本IE協会	常任幹事
大会副実行委員長	島田 豊	日本IE協会	事務局次長 兼 グループマネージャー
大会実行委員	領家 大和	㈱IH	横浜エンジニアリングセンター 技術開発本部 ものづくり推進部 主査
	大西 壮	AGC㈱	AGCモノづくり研修センター 生産性革新推進部 IEプロフェッショナル
	木鋪 高之	味の素㈱	食品生産統括センター IE技術グループ シニアマネージャー
	宇佐美 裕一	アズビル㈱	プロダクションマネジメント本部 業務部 ものづくり人材開発グループ
	牛木 稔行	㈱イカイプロダクト	管理部 人財企画室 係長
	福土 享里	いすゞ自動車㈱	IM推進部 IM推進部 推進第1グループ 上級職
	入江 誠	㈱エビジョンAESCジャパン	座間製造部 管理課
	井口 慧士	鹿島建設㈱	エンジニアリング事業本部 生産・研究施設 第2グループ 課長代理
	青木 敬徳	鬼怒川ゴム工業㈱	生産統括室 シニアスタッフ
	東郷 義樹	キューピー㈱	生産本部 グループ生産戦略推進部 次長
	渡邊 浩昭	ジヤトコ㈱	JEPS推進部 JEPS推進課 課長
	狩野 明芳	小規模モノづくり研究会	理事
	神部 幸昭	㈱正電成和	ものづくり推進部 部長
	若林 伴実	㈱東芝	生産推進部 生産戦略室 企画担当 エキスパート
	川崎 和也	東芝テック㈱	静岡事業所 三島サイト 生産企画部 生産DX戦略推進担当 参事
	脇田 哲也	東芝ロジスティクス㈱	物流改革推進部 企画担当 参与
	鷹野 彰浩	凸版印刷㈱	製造統括本部 製造技術センター 技術企画部 部長
	岩崎 秀継	日産工機㈱	品質保証部 主担
	櫻井 智則	日産自動車㈱	生産企画統括本部 APW推進部 生産システム革新グループ 主担
	杉崎 憲一	日産車体㈱	生産統括部 生産管理グループ 主管
	鷺主 央輝	(公財)日本生産性本部	コンサルティング部 担当課長
	永井 涉	日本製鉄㈱	技術総括部 技術総括室 上席主幹
	百川 裕希	日本電気㈱	サプライチェーン統括本部 グローバルものづくり技術センター マネージャー
	竹蓋 正典	㈱ニューフレアテクノロジー	描画装置技術部 技術管理グループ 参事
	稲垣 洋平	日立建機㈱	生産・調達本部 生産技術センター 工場IoT推進プロジェクト 主任
	井手口 泰	㈱日立製作所	モノづくり戦略本部 生産技術強化推進部 主任技師
	杉本 良雄	日野自動車㈱	古河工場 工務部 工場管理室 主管
	大野 利和	富士ゼロックス㈱	モノ作り本部 モノ作り技術部 生産技術統括グループ チーム長
	加藤 慎二	㈱ブリヂストン	工場設計標準支援ユニットリーダー
	酒井 遊	マレリ㈱	グローバル生産本部 技術センター 生産企画部 主担
	大友 浩司	三木プーリ㈱	技術本部 生産技術部 部長
	兼森 洋志	三菱電機㈱	生産システム本部 生産技術・ロジスティクス部 生産性推進グループマネージャー
	千本 繁幸	UDトラックス㈱	Operations VPS マネージャー
	森 正樹	横浜ゴム㈱	タイヤ生産技術部 管理2グループ
	岡田 友良	㈱リコー	生産本部 生産統括センター 事業統括室 室長
	網野 佐太雄	YPS	代表 コンサルタント

IEが奏でる未来響創 ～変化はチャンス、変革を起こして更なる飛躍へ！～

国内では少子高齢化の問題が深刻さを増し、就業人口の減少に歯止めがかかっていません。投入できるリソースそのものの制限を受ける中、「働き方改革」を進めることはもう一段高いハードルが設定されていることを意味します。国際的にも貿易関税に起因する経済環境の変化、地球環境問題など、日本が直面する課題は益々厳しさを増しています。このような状況だからこそ、もう一度原点に立ち返り、IEを起点とした「新たな生産性向上」施策をすべての業種・業態において取り組んでいくことが求められています。また、世界中に感染が広がる新型コロナウイルスを前提とした脅威と共に経済活動を進めていくことも見据えていかねばなりません。

今が正しく危急存亡の秋(とき)であり、この危機を乗り越えなければならぬことは論を待ちません。

本大会では、すでに「新たな舵取り」を始めた企業の羅針盤そのものにフォーカスした『企業戦略』、企業は人なりと言われ続けていますが、まさにその「人」にフォーカスした『人財力』、トップダウンとボトムアップの融合、日本の強さの象徴である自立(自律)した「ボトムアップ」にフォーカスした『現場力』、そして今や国内GDPの75%を占める第3次産業でも確実に普及してきた『広がるIE』の4つの分科会を用意いたしました。また、4つの分科会の中に、それぞれ共通テーマ「価値創造」の事例を盛り込み、多種多様な選択肢を実現しました。

変わるのは「今」です。振り返ってみたとき、あれが「わが国産業の生産性向上の分水嶺であった」と懐かしむことができる「その時」に立ち会っていませんか？

<p>9:50~10:10</p>	<p>【開会挨拶・基調講演】 日本インダストリアル・エンジニアリング協会 会長 (株)東芝 取締役会長 綱川 智</p>	
<p>10:10~11:00</p>	<p>【特別講演】 「ユーザーイン経営」(仮題) アイリスオーヤマ(株) 代表取締役会長 大山 健太郎 氏</p> <p>【ポイント】 ・アイリスオーヤマの経営理念「ユーザーイン」 ・ビジネスチャンス優先の経営 ・ビッグチェンジはビッグチャンス</p> <p>19歳で家業を継承、大山ブロー工業所(現アイリスオーヤマ)代表者に就任。グループ国内工場14カ所。1992年アメリカ、1996年中国、1998年オランダなどに現地法人を設立し、現地生産、現地販売で事業を展開。地方から世界で展開するグローバル企業に成長させ、現在に至る。</p>	
<p>11:10~12:00</p>	<p>【リフレッシュ講演】 「タニタの働き方革命」 (株)タニタ 代表取締役社長 谷田 千里 氏</p> <p>【ポイント】 タニタでは、希望する社員を雇用契約から業務委託契約に転換することで、主体性を発揮できるようにしながら、本人の努力に報酬面でも報いることができる「日本活性化プロジェクト」に取り組んでいます。昨年、書籍の発行や報道をきっかけに賛否両論を巻き越したこの仕組みは、ニューノーマル時代の働き方としてもマッチするのではないかと考えています。「タニタの働き方革命」の最新事情についてお話しします。</p> <p>1972年大阪府吹田市生まれ。1997年佐賀大学理工学部卒。船井総合研究所などを経て2001年タニタ入社。2005年タニタアメリカ取締役。2008年5月から現職。48歳。レシピ本のヒットで話題となった社員食堂のメニューを提供する「タニタ食堂」事業や、企業や自治体の健康づくりを支援する「タニタ健康プログラム」などを展開し、タニタを「健康をはかる」だけでなく「健康をつくる」健康総合企業へと変貌させた。</p>	
<p>13:00~13:50</p>	<p>【特別講演】 「大企業の多角化戦略とグループ経営 ～多角化戦略、コングロマリット、グループ経営の有効性～」 京都大学大学院経済学研究科、および経営管理大学院 教授 アスリ・チヨルパン 氏</p> <p>【ポイント】 ・大企業における戦略行動(多角化)と組織構造(事業部制、ビジネスグループ)を理論的歴史的に概観。 ・現実の企業経営の実例紹介 ・違った制度的環境(成熟経済または新興経済)での戦略と組織の有効性</p> <p>・リーズ大学経営工学修士、京都工芸繊維大学工学博士 ・京都大学経営管理大学院准教授を経て、2018年より現職 ・ハーバード・ビジネススクールチャンドラー客員教授、MITスローンビジネス・スクール客員教授、コロンビア大学日本研究センター併任准教授を歴任 ・研究対象は経営戦略、コーポレート・ガバナンス、国際経営</p>	

【事例講演】

第1分科会「企業戦略に学ぶ」 ～企業戦略を変え価値を創出～		第2分科会「人財力」 ～躍進と進化～		
14:05 14:55	和歌山発～21世紀のHONDAを目指して ～glafit流モノづくり～	ダイバーシティ経営からNextステージへ ～人と人の関係性に働きかけて人財を育てる組織に～		
	<ul style="list-style-type: none"> ・glafitビジョン ・オープンイノベーション ・クラウドファンディング 	<ul style="list-style-type: none"> ・新・ダイバーシティ経営企業100選受賞に至った総合的・体系的な取組みと成果 ・ボトムアップで進めた現場主体のD&I活動”Hop, Step, Jump”の軌跡 ・自分で考え、行動できる自律型人材を育てる1on1の「対話」の拡充 		
	glafit(株) 代表取締役 鳴海 禎造 氏	パシフィックコンサルタンツ(株) 新しい働き方推進部 マネージャー 飯島 玲子 氏		
15:10 16:00	ソニーが挑むクルマづくり ～電気自動車「VISION-S(ビジョンエス)」開発物語～	設計技術者向け I E 教育 ～上流工程への I E 思想の浸透～		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ソニーのモビリティ VISION-Sを開発するに至った経緯 ・VISION-Sプロトタイプの概要 ・現在の状況と今後のプラン 	<ul style="list-style-type: none"> ・モノづくり現場が抱える課題を設計技術者が理解し、上流段階で問題を潰す目を養う ・I Eのみならず、V E(価値工学)の視点からもムダ排を考える ・講義と製品解体や現場観測などの演習を組み合わせた教育カリキュラムで理解を深める 		
	ソニー(株) 執行役員 AIロボティクスビジネス担当 川西 泉 氏	東芝インフラシステムズ(株) 府中事業所 インフラシステムソリューション企画・品質管理部 エキスパート 柴田 稔 氏		
16:15 17:05	独自モデル「製造物流IT小売業」とお客様への価値提供 ～「お、ねだん以上」を実現するためのビジネスモデルとは～	全員で良いモノを造る活動を支える人財教育 ～納得感が得られる三直三現での人づくり～		
	<ul style="list-style-type: none"> ・垂直統合型サプライチェーン「製造物流小売業」構築の背景 ・ビジネスモデルの強みを活かした事例紹介 ・お客様の「買う」の変化に必要なサプライチェーン改革 	<ul style="list-style-type: none"> ・三直三現で実践OJTにより班長クラスも納得できるようにすることで維持・改善を継続できるようにする ・現場で意識しづらい全体最適に見えるような仕組みをつくり、理解度を高める ・改善のやりがい、達成感を持つことで、継続的な改善を進める 		
	(株)ニトリホールディングス 取締役執行役員副社長 松元 史明 氏	(株)セキソー 取締役常務執行役員 安井 文康 氏		
	<ul style="list-style-type: none"> ・1981年 日産自動車(株) 入社 ・2014年 日産自動車(株) 取締役副社長 ・2018年 (株)ニトリホールディングス 副社長執行役員 ・2019年 (株)ニトリホールディングス 取締役副社長 	<ul style="list-style-type: none"> ・1982年 マルヤス工業(株) 入社 ・2011年 (株)セキソー 営業担当 執行役員 ・2012年 (株)マルヤス・セキソー東北 工場長 ・2017年 (株)セキソー 製造部担当 執行役員 ・2019年 常務取締役 ・2020年 現職 		

【事例講演】

<p>第3分科会「シン・現場力」 ～限らない生産性向上への取り組み～</p>	<p>第4分科会「広がるIE」 ～業種を超えたIE活用～</p>	
<p>AI導入を成功に導く三ヶ条 ～製造、流通等の事例から見たマネジメントの役割～</p>	<p>自動車製造ノウハウを活用した農業生産性向上の実践 ～イチゴ農園における取り組みの紹介～</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ マネジメントがAIについて知っているべきこと ・ 意思決定に際して確認すべきポイントとは ・ 導入したAIを継続的に利用するために <p>日本電気(株) AIアナリティクス事業部 シニアマネージャー 秋元 一郎 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ IEの手法・視点に基づく動作改善、レイアウト改善、標準化の推進 ・ からくりを使った改善による収穫作業の負荷軽減と効率化 ・ 収穫から出荷まで、農場内のコールドチェーン(低温物流)の実現 <p>日産自動車(株) APW推進部APW改善コンサルティング室 シニアエンジニア 伊藤 嘉津美 氏</p>	<p>14:05 14:55</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1998年 NEC入社 ・ 2006～09年 北米赴任にてスタートアップ協業、新規事業開拓に従事 ・ 2014年～ NEC中央研究所⇒AIアナリティクス事業部にてAI事業開発に従事 ・ 2020年～ 世界経済フォーラム第四次産業革命センター(日本支部)フェロー就任 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1989年 日産自動車(株) 入社 ・ 2004年 NPW推進部サプライヤー支援グループ 部品メーカー 原価低減活動に従事 ・ 2011年 NPW改善コンサルティング室 各種企業・団体の改善指導に従事 ・ 2013年 Nissan Motor Thailand赴任 現地企業の改善指導に従事 ・ 2015年 現職 	
<p>Brother Free Location System導入を中核とした場内物流改革 ～グローバルチームブラザー叡智の結集～</p>	<p>JERA におけるKaizen の取組 ～電力業界での生産性向上～</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 複雑化した場内物流をグローバル拠点で開発した共通システムにて解決 ・ スマートフォンを活用した倉庫管理システムの構築を実践 ・ システム稼働後はシステム内のデータを利活用し、さらなる改善を実施 <p>ブラザー工業(株) 品質・製造センター 製造企画部 4G グループマネージャ 西村 栄昭 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Kaizenにより火力発電設備定期点検の工期を約1/3に短縮 ・ さらにKaizenを保全・調達・運用などにも拡充 ・ JERAの国際競争力強化に貢献するためKaizenをグローバルに展開 <p>(株)JERA O&M・エンジニアリング本部 東日本O&M エンジニアリング計画部 Kaizen 推進センター 所長 小穴 英昭 氏</p>	<p>15:10 16:00</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1998年 ブラザー工業(株)入社 ファクス・プリンタ製造技術担当 ・ 2003年 マレーシア工場出向(技術部門責任者) ・ 2012年 本社 製造部 生産革新 シニアチームマネージャー ・ 2015年 製造センター 生産革新部 グループマネージャー ・ 2019年 品質・製造センター 製造企画部 グループマネージャー(現職) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1994年 東京電力(株) 入社 ・ 2003年 国際部 国際部メコエナジー社出向(技術副部長) ・ 2013年 富津火力発電所3・4号系列機械メンテナンス・グループ・マネージャー ・ 2019年 株式会社JERA 東日本O&Mエンジニアリング 計画部 Kaizen推進センター所長 	
<p>ロジスティクス業界におけるIEの可能性 ～なぜIEに着目し、どのように全社活動として広めたのか?～</p>	<p>調剤業務の自動化(実証実験の結果考察) ～生産年齢人口減少時代を見据えた薬剤師の対人業務強化への取り組み～</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 当社の「現場力強化」の考え方 なぜIEを物流会社に取り入れようと考えたか? ・ 学び/実践/定着に向けた具体活動 ・ IE手法を用いた具体取り組み事例のご紹介 <ol style="list-style-type: none"> ①自転車組立工程と庫内移動の改善 ②ユニットロード化実現に向けた荷役効率化取り組み <p>日通・NPロジスティクス(株) 神戸化推進室 参事 向畑 和重 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異なるメーカーの調剤機器を連携 ・ 調剤オペレーションを数値化して評価 ・ 実証実験結果の課題と他店舗への展開 <p>(株)トモズ 薬剤部・在宅推進室 分掌 取締役 山口 義之 氏</p>	<p>16:15 17:05</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1988年 松下物流倉庫(旧社名) 入社 ・ 2007年 関西支店 重量物流センター センター長 ・ 2011年 東北支店 仙台センター センター長 ・ 2014年 本社 神戸化推進室 参事 現在に至る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1994年 住友商事(株)入社 ・ 1996年 住商リテイルストアーズ(株) (現、(株)トモズ) ・ 2006年 (株)コーエイドラッグ(2007年住商ドラッグストアーズに統合) ・ 2009年 (株)クスリのカツマタ(2010年住商ドラッグストアーズに統合) 取締役 ・ 2010年 (株)住商ドラッグストアーズ(現、(株)トモズ) 執行役員 ・ 2013年 住友商事(株)リテイル事業部 ・ 2016年 (株)トモズ 取締役 	

※プログラムは都合により一部変更になる場合があります。

【申込要領・参加費】

- ◆ **ホームページ(URL : <http://www.j-ie.com/>)からお申込みください。**
※新型コロナウイルス感染拡大を防止するためにも、オンライン参加をお願いします。
※オンライン参加が難しい場合は、事務局にご相談願います。
- ◆ 正式受付について
・お申込み時点で正式受付となります。(WEB申込のみ、申込責任者Eメールへ受付完了連絡が自動送信されます)
- ◆ 参加証について
・参加証は、参加者へEメールで自動送信されます。
※オンライン参加の場合：代理出席を1/29までご連絡願います。代理出席者へのアクセス権の切り替えを連絡します。
- ◆ 請求書について(参加費用は3/31までにお振込みください)
・請求書は、1月中旬から順次、申込責任者へ郵送いたします。

参加費/1名分(上段税別・下段税込)		法人会員・個人会員 協賛・後援団体	一般	学生
◆ 2/9 参加	通常価格	25,500円 (28,050円)	44,000円 (48,400円)	3,500円 (3,850円)

【連絡先Eメール】
jiie@j-ie.com
1/29までに参加証
が届かない場合は
ご連絡ください。

【注記】参加費には、資料代(デジタル版)を含みます。

【備考・お願い】

- ◆ **講演資料(予稿集)の配布はありません。**
後日、ダウンロード用のURL、ID、PWを連絡させていただきますので、ご自身にて、事前に印刷いただき、ご持参をお願いします。(1月中旬～:予定)
- ◆ オンライン参加に関する詳細については、ホームページに掲載する案内を参照願います。

【オンラインの参加誓約事項】

下記参加誓約事項を了承の上、お申込みください。

- ①大会内で使用する資料・電子ファイルの無断転用は禁止します。
- ②大会の録画・録音・撮影、および資料の2次利用、詳細内容のSNSへの投稿は固くお断りいたします。これら大会内容の登用が発覚次第、著作権・肖像権侵害などとして対処させていただきますことがございます。
- ③大会には、お申込みいただいた参加者のみが参加可能です。また、職場内でプロジェクター投影などにより、お申込みでない方の聴講は禁止します。
- ④参加者に通知される情報(URLやID/PWなど)は適切な管理をお願いします。また、他者への転送、共有は禁止します。
- ⑤参加場所は、大会の講演に集中することができ、他者に情報がもれない環境を確保くださいますようお願いいたします。
(大勢が業務をしている執務室やカフェなど公共の場での参加はご遠慮ください)
- ⑥派遣元企業や参加者の費用と責任において、参加に必要なPC・デバイスなどの設備一式や十分な帯域とセキュリティが確保されたネットワーク環境をご準備ください。
(フリーのWiFiなど暗号化されていないネットワークは使用しないようにお願いします)。
- ⑦上記①から⑥の誓約事項(上記環境の確保・使用を含む)が守られなかった場合は、今後の大会・研修・セミナーなどの参加申し込みをお断りする場合があります。
- ⑧主催者側の障害や瑕疵以外の理由により、大会の一部または全部に参加できなかった場合は、参加費返金や補償はありません。
- ⑨大会に利用する第三者のオンライン会議システムの使用により派遣元企業や参加者が損害(個人情報や企業秘密の漏洩等を含むがこれらに限らない)を被った場合であっても、主催者側は当該損害について一切の責任を負いません。
- ⑩何らかの原因で大会が中止となった場合、すでに参加費をお支払い済みの方には、代替セミナー・研修の提供(該当参加費相当 or 同額)、または参加費の返金以上の補償はありません。
- ⑪上記誓約事項などのすべてを遵守・了承した上で、年次大会にご参加ください。

【問い合わせ先】

日本 I E 協会

〒102-8643 千代田区平河町2-13-12 生産性本部ビル Eメール : jiie@j-ie.com
TEL : 03-3511-4062 FAX : 03-3511-4069 WEB : <http://www.j-ie.com/>

J I E 日本インダストリアル・エンジニアリング協会
THE JAPAN INSTITUTE OF INDUSTRIAL ENGINEERING